

「小児に特化したNST」

子どもには、大きく次の3つの点から大人と異なる栄養サポートが必要です。

- ①成長→成長に必要なエネルギー、栄養素への配慮。
- ②食の変化→母乳、ミルクから離乳食、普通食へと変化する「食」への配慮。
- ③多様な病気→1つのフロア（17西病棟）で神経／血液・腫瘍／外科／代謝／消化器など多岐にわたる小児疾患の看護・治療にあたるため、各疾患に精通した栄養計画が必要。

これらの点に対応するため、小児科医・看護師・管理栄養士・薬剤師・言語聴覚士など多職種のプロが栄養サポートチーム（NST）を結成し、一人ひとりの小児患者さんの栄養サポート計画を立案・実行しています。小児に特化したNSTの取り組みは全国的にも数少なく、私たちの取り組みが今後の日本の小児の栄養サポート戦略の基盤となるという気概のもと、日々取り組んでいます。



「学会活動への取り組み」

小児のNSTを行う上で大人のNSTとの違いは、対象者が患儿だけでなく親御さんたちも関わってくるところにあります。親御さんの同意がなければ栄養の介入もできませんし、経管栄養管理の患儿の場合には、実際に作業するのは親御さんのため、親御さんの協力は必須です。そのため、親御さんへのNST活動も行っています。

また、NST活動内容や症例報告などを取りまとめて、学会や研究会などでの報告も積極的に行っています。